

学習内容報告書 フォーマット

学校名	福井県小浜市立内外海小学校
授業者	服部 縁

1. 単元計画

実施した活動内容に基づきご記入ください。

1-1. 単元名

未来へつなぐ内外海の海

1-2. 学年

6年

1-3. 教科（単元を実施する教科を全てお書きください）

総合的な学習の時間 国語

1-4. 単元の概要

昨年度から海ごみ問題について取り組んでいる。昨年度の活動から現状分析し、課題を解決する方法を考えた。解決のために、自分たちにできることを考え、国語で学習した提案書の書き方を使って、「海ごみ問題解決提案書」をグループごとに作成した。スライドを作成し、地域の方々や海ゴミ問題に取り組んでいる企業の方に発表を聞いてもらった。アドバイスや感想をいただいた。

その後、各グループの提案書をもとに話し合い、実際にできそうなことをやってみることにした。取り組んだのは、「ストローを使わずに牛乳を飲む方法」「牛乳パックのガチャガチャ」「古着リサイクル&リメイク」である。

取り組んだことは、学習発表会、松原小学校との交流会、ふるさと教育フェスタで発表した。

1-5. 単元設定の理由・ねらい

海ごみの現状から、少しでも海ごみを減らしたい、地元の海を守りたいという気持ちは高まっている。地域や企業、高校生の取り組みをヒントに、自分には何ができるか、自分ごととして考えられるようにしたい。

「～しなければならない」から「自分は～する」という意識改革をしたい。そのために、実現可能で、持続可能な取り組みに焦点をしばって実際に取り組ませ、実践的態度を養いたい。

1-6. 育みたい資質や能力、態度

ふるさとを愛する心、ふるさとのために行動する態度
コミュニケーション力、情報発信力
つながりを大切にする態度

1-7. 単元の展開 (全 26 時間)

時 数	学習活動・主な内容	教師の指導 / 主な評価 外部連携 / 使用教材等
5	<p>昨年度の調査やゴミ拾い活動をふりかえり、それ以外の活動ができないか考え、共有したドキュメントに入力する。</p> <p>入力したものをしながら意見交換し、取り組みそうなものをしぼり、分類する。</p> <p>(出た意見)</p> <p>学校から出るゴミを減らす</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ストロー ・牛乳パック <p>捨てるものを生かす</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新聞や広告 ・ペットボトルのふた ・ペットボトル ・紙ごみ ・古着 ・プラごみ <p>*家の人や全校児童にも協力してもらう</p> <p>海ごみを生かす</p> <ul style="list-style-type: none"> ・アクセサリー ・日常で使うもの ・何かの道具にする <p>*ゴミをリメイクして販売する</p> <p>グループに分かれて、活動について目的や効果などを話し合い、提案書を作成する。発表用スライドを作成する。</p>	<p>国語「私たちにできること」で、提案書の書き方を学習しておく。</p> <p>(評価) 独自性のあるものや実現、継続可能なものを上げている。</p> <p>出た意見で似ているものどうしをまとめるなどして、分類していく。</p> <p>グループに分かれて活動を決め、その目的や効果を話し合わせる。</p> <p>考えが深まったら、発表ができるように、それに適したスライドを作成させる。</p> <p>5年生の活動に参加し、地域の方にも自分たちの考えを聞いてもらうことを伝える。</p>
2	<p>海ごみを減らすために取り組んでいる方々の話を聞く</p> <ul style="list-style-type: none"> ・海ゴミ問題の現状 (西野さん) ・プラスチックチップを使ってコースターを作る機会の実演 (黒田さん) ・プラスチックの選別をするカメラの実演 (吉岡さん) <p>グループで作った提案書を発表しよう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・5年生の海ごみ調査に協力してくれている外部の方々にも聞いてもらい、アドバイスをもらう。 	<p>アノミアーナ代表 西野ひかるさん 福井テレビ 北嶋伸希さん TONKAN terrace 代表 黒田悠生さん、 株式会社 RICOH 吉岡信治さん 小浜市役所環境衛生課の方々</p> 
2	<p>各グループの発表を聞いて、話し合う</p> <p>自分たちだけで実現できるものと実現できないものに分ける。</p> <p>実現できるものについて詳しい計画を立てる</p>	

8	<p>できることをグループに分かれて行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・牛乳パックのガチャガチャ作り ・古着リサイクル・リメイク <ol style="list-style-type: none"> ① 計画書を作る ② 必要なものをそろえる ③ 制作・ポスター作り ④ 試作品紹介 	<ul style="list-style-type: none"> ・2グループに分ける。 ・牛乳パックのガチャガチャは実際に使ってもらえるところに設置する。 ・古着を集める箱を用意し、ポスターで告知する。集まった古着をリサイクルするものとリメイクするものに分け、リサイクルするものはバザーのようにして並べ、リメイク用の古着は、適切な大きさに裁断し、ミシンを使ってシュシュや巾着袋などに作り替える。
3	<p>学習発表会に向けて 取り組んだことや考えたことをまとめ、発表する。</p>	<p>役割分担してスライドをまとめ、ペアやグループで相談しながら原稿を作る。 2つの活動の他に、ストローを使わずに牛乳を飲む取り組みやゴミ袋を減らす取り組みについても発表する。</p>
5	<p>松原小学校との交流 牛乳パックのガチャガチャは角があるため引っかかりやすく、本体を傷めやすい。そのため、ヨーグルトカップで作成するなど、解決方法を考え、作ってみる。 古着のリメイクを進める。 改良したところを含めたプレゼンを行う。</p>	<p>松原小学校6年生</p>
1	<p>ふりかえり 活動をふり返り、自分の考えをまとめる。</p>	<p>(評価) 自分なりの考えをもち、効果や持続可能かどうかを判断し、自身の活動を見直したり、改善したりしている。</p>

2. 学習活動の実際

実施した単元中のキーとなるような時間（導入の時間・主となる活動の時間・まとめの時間など）の学習内容をご記入ください。また、複数の時間についてご記入いただける場合には、この項目をコピーして複数記入していただいて構いません。

2-1. 単元における位置づけ

単元 時間中の 時間目

※例：単元 10 時間中の 2 時間目 / 単元 15 時間中の 4, 5 時間目

2-2. 本時の目標

各グループの発表を聞いて、取り組みを分類し、自分たちだけでもできることをしぼる。

2-3. 本時の展開

主な学習活動 / 反応	教師の指導・支援 / 評価の視点（方法）
<p>活動内容を決めよう （各グループの発表の中から活動する内容を決める。）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ スライドを見ながら、具体的な活動を Jamboard の付せんに書き出す。 ・ 書き出した活動を、「自分たちにできること」「協力を得てできること」「実現が難しいこと」の3つに分類していく。 <p>（出てきた意見）</p> <p>学校から出るゴミを減らす</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ ストロー ・ 牛乳パック <p>捨てるものを生かす</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 新聞や広告 ・ ペットボトルのふた ・ ペットボトル ・ 紙ごみ・プラごみ ・ 古着 <p>*家の人にも協力してもらおう・全校に協力してもらおう。</p> <p>海ごみを生かす</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ アクセサリー ・ 日常で使うものや何かの道具にする <p>*ゴミをリメイクして販売する</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ みんなで取り組んでみるものを決める。 ・ ストローを使わずに牛乳を飲むのはすぐにできる。 ・ 捨ててしまう牛乳パックを入れ物にしたガチャ 	<ul style="list-style-type: none"> ・ スライドに載せたものをすべて出させる。その場で思いついたものも入力させる。 ・ 分類しやすいように、視点を与える。 <ul style="list-style-type: none"> ・ できそうな活動をしぼり、グループに分かれて活動させる。 ・ 活動を行う上で、障害となるものがないか考えさせ、それをクリアできるかどうか考えさせる。 ・ 活動の中でも、より効果があり、続けていけることを視点に活動のアイデアをしぼらせる。 （今回は、古着リメイクとガチャガチャに決定。この日からストローを使わずに牛乳を飲み始めた。学習発表会で他の学年にも協力を求めた。 <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 10px;">   </div>

ガチャを作りたい。

- ・古着を集めて、リサイクルやリメイクがしたい。

グループ分けをしよう。

- ・古着リメイクグループ
- ・ガチャガチャグループ

次回から、各グループに分かれてすぐに活動ができるように計画を立てる。



3. 今回の活動の自己評価

海を守るためにできることを考えることや知識として知っていることをいくつも出すことはできるけれども、必要なことは小さいことでも続けていくということ、みんなで取り組んでいこうとする姿勢である。今回の活動で、SDGs に対して取り組む意識改革をすることができたと思う。子どもたちの活動報告の中に、「1人の100歩より100人の1歩」という言葉があるように、1人の力は小さいけれど続けていきたいという思いを強めることができた。また、後輩達に受け継ぎたいと、学習発表会などを通して全学年に伝えることもできた。活動の輪を広げ、みんなで楽しみながら取り組もうという気持ちを学校全体に伝えることができたと思う。また、同じ海ゴミ問題に取り組んでいる学校と交流することができ、刺激を受けた。お互いの取り組みの良さを感じるとともに、共に取り組む仲間がいることで、心強く感じる事ができていたように思う。

4. 今後の課題

各学年で取り組みたいことが多くあるため、活動の継続がどの程度できるかわからない。より簡単に続けていけることを考えていくと良い。

5. 本学習内容報告書活用にあたっての留意点

※実施した單元ごとに作成してください。

※写真、画像、図表等の使用可。必要に応じて記入欄やページ数を増やしても構いません。

※基本レイアウト

フォント：MS 明朝、10.5 ポイント / マージン：上下端 20mm、左右端 16mm

※ファイル名は「学習内容報告書_学校名」とし、複数提出する場合は学校名の後に数字を記載してください。

例：学習内容報告書_海洋市立パイオニア小学校 1

※年間指導計画（年間の指導計画における単元の位置づけが分かる資料）があれば別添資料として提出してください。フォーマットの指定はありません。